

編 集 後 記

民間組織「人口戦略会議」は「将来的に消滅の可能性がある」全体の40%に当たる744市町村(鹿児島県内は15市町村)を公表しました。2050年までに20～30代女性が半数以下になるとの推計が根拠とのことです。人口減少の深刻さを感じます。対策として若い女性の就労環境、子育てしやすい環境等が鍵となるようです。身近なところでは、鹿児島県においていまだ実現していない「こども医療費の窓口負担ゼロ」を早急に実現させてほしいものです。

「誌上ギャラリー」は有里敬代先生から「花菖蒲」です。桜島を背景に畑一面に咲き誇っている花菖蒲は見事です。気持ちが癒されます。

「論説と話題」は丸山慎介先生から「起立性調節障害の理解と学校での対応」です。起立性調節障害は中高生の1～2割が罹患する自律神経機能不全による身体疾患であり、それを本人や周囲(家族、学校)が理解することが治療に結び付き大変重要です。また学校との連携は本人の安心感を得るためにとっても重要です。

鹿児島市医師会役員等選挙が行われ、次期役員が決定しました。会長として4期目の就任となります上ノ町 仁先生の「会長候補者所信表明」で、「会員のニーズにしっかりお応えし、未来へ安定成長させる」を念頭に尽力する所存ですとお言葉をいただきました。よろしくお願い致します。

「学術」は池田真紀先生から「急性膵炎の発症が先行し、劇症1型糖尿病と考えられた1例」です。1型糖尿病発症時の自己免疫性の膵β細胞障害により膵外分泌障害および膵腫大を呈した稀な経過と考えられるようです。

「医師会病院だより」は園田拓郎先生からペインクリニック内科の紹介です。ペインクリニック治療、神経ブロック治療の適応にならない疾患や難治な疼痛に対する積極的な漢方治療、がん患者サポート治療を三本柱とし

て診療を行っています。痛み(少)なく元気な高齢者を目標に痛みの治療の実践と全人的な医療を心がけています。ご紹介よろしくお願ひ致します。

「随筆・その他」は粟博志先生から「音楽の散歩道 その9の1-演奏が世界的センセーションを起こしたピアノ独奏曲とマウリツィオ・ポリーニー」です。いつもありがとうございます。

小田原良治先生から「制度創設時に立ち返り医療事故の定義を再確認しよう(7)」です。「医療事故」という言葉は、専ら「医療安全」の用語として、その要件である「予期」という用語とともに新しい法的意味を持ったとのことについて詳細に解説していただきました。

「リレー随筆」は藤田俊浩先生から「或阿呆の断酒回顧録」です。健診結果に焦ったことから始まり、奥様の支えのもと見事断酒に成功した経過がユーモラスに描かれています。定期的な健診でのモニタリング、適度な飲酒が人生を楽しむコツのようです。

「区・支部だより」には、令和5年度各区・支部長退任の挨拶、令和6年度各区・支部長の先生方に就任の挨拶をいただきました。ありがとうございました。そしてよろしくお願ひ致します。

未来のタカラジェンヌを養成する宝塚音楽学校の入学式が行われ112期生の40人が憧れの舞台への第一歩を踏み出しました。鹿児島市からも見事合格し新たな挑戦を始める若者がいます。時代にあわせた改革に取り組むことを約束した新しい環境の中で、若い力がのびのびとその実力を発揮していけるような世界であってほしいと切に願ひます。いつの日か舞台上で輝いている姿を観てみたいものです。

(編集委員 今村 直人)